

## 学校評価について

### (1) 平成30年度の学校評価

本年度の 学校重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文武両道の実践を通して生徒の知徳体のバランスのとれた成長を図る。</li> <li>・習熟度に応じた効果的な学習指導を研究・実践する。</li> <li>・保護者、地域との連携を強め、情報収集・情報発信に努める。</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスを考慮し、長時間労働の改善に努める。</li> </ul>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	自己評価
生活指導 (生徒指導部) (各学年会)	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の励行</li> <li>・身だしなみ指導の充実</li> <li>・交通安全意識の高揚</li> <li>・適正な部活動指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年、部活動での指導の結果、全体的に挨拶できるようになった。</li> <li>・落ち着いて学校生活を送っている。</li> <li>・送迎車が多く、近隣から危険性を指摘されることもあった。生徒の登下校のマナーについてしっかりと指導をしていく。</li> <li>・部活動の活動方針を検討し、活動時間や内容をより適正なものとなるようにしていく。</li> </ul>
	いじめの早期発見、適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識調査等によるいじめの早期発見と適切な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果に基づく対応は素早くでき、案件は減少したが、把握できない部分があるため、生徒の行動を注視していく。</li> </ul>
学習指導 (教務部) (各学年会) (各学科) (各教科会)	基礎学力の定着と応用力の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別クラス編成を生かした学習指導の充実</li> <li>・個々の生徒の習熟度に応じた学習指導の充実</li> <li>・基本的な授業習慣の確立</li> <li>・学習環境の整備</li> <li>・課題と予習・復習による家庭学習の習慣化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題や授業内容は習熟度に応じて実施できた。さらに充実させていきたい。総合ビジネス科・生活文化科ではビジネスマナー教育など社会とのつながりを意識した内容を実施した。</li> <li>・情報交換を行い、成績不振者に対してはしっかりと指導ができた。考査前に学習会も実施した。</li> <li>・概ね良好であった。</li> <li>・清掃活動や美化活動は良好であった。</li> <li>・課題の提出がなかなかできない生徒に対して学習会を実施し、効果をあげた。課題は学年でバランスがとれている状況であった。</li> </ul>
進路指導 (進路指導部) (各学年会)	進路意識の高揚と学ぶ意欲の喚起	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路相談の充実</li> <li>・キャリア教育の実践</li> <li>・模試結果等の活用</li> <li>・インターネットの活用</li> <li>・進路選択のための資料の充実</li> <li>・情報収集・情報発信の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な面接に加え、進路に関する担任面談を適宜行った。進路室利用が増えた。</li> <li>・面接・LT・講演会等で自分の将来について考える機会を与えることができた。</li> <li>・模試結果を全職員に報告し、今後の指導に役立てた。</li> <li>・大学入試にインターネット出願が増え、進路室のパソコン利用が増加した。</li> <li>・受験報告書の閲覧・提出ともに多数あった。</li> <li>・各種研究会に積極的に参加し、情報を集め、適切に職員・生徒に伝達した。</li> </ul>
	多忙化の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間労働の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の検討、部活動の活動方針の検討</li> <li>・ライトダウンキャンペーンへの参加等長時間労働の改善に努めた。</li> </ul>
今後の改善方策について	<p>生活指導の面では、身だしなみについては概ね良好であった。公共のマナー・交通安全マナーに関する注意を引き続き行う。人間関係において心配な面も見られたので、注意深く観察する等、問題の早期発見・対応に努める。SNSの利用についての注意をしていく。支援の必要な生徒については、学年をこえた全教員での情報の共有や連携をしていく。</p> <p>学習指導については、多様化している生徒に適した学習指導を各教科と学年会で連携し、継続的に行う。また、年間学習指導計画については継続的に見直していく。</p> <p>進路指導については、個人面接・キャリア教育・進路情報の提供などの様々な面で、引き続き各学年や教務部と十分に連携を図り、充実を目指す。</p>		